

復興支援実行委員長のあいさつ

実行委員長 大沼 所左衛門

昨年3月11日の大震災直後より、クラブ会員による献身的な奉仕活動を目にし、クラブとして何かできないかを考えておりました。

7月の会長就任後もずっとそのことを考えており、まずは町内で復興支援に立ち向かっていた方々を例会にお呼びし苦勞を分かち合いました。

そんな時、村田再発見「蔵の会」が町内の蔵の被害状況の調査、復興支援を行っていることを目にしました。

村田町が「蔵の町村田」として観光に力をいれている今、壊滅状態の村田の蔵を支援している「蔵の会」を何とか支援できないか考えました。

そのことを昨年度ガバナー補佐の小川会員に相談したところ、地区内各クラブの支援事業の一覧表を見せていただき、ロータリー財団を利用した震災復興ができるのではないかと考え「ロータリー東日本震災復興基金日本委員会」に申請すべく当クラブ理事会に諮り、次いでクラブ全員協議会にて承認をいただきました。

地区、日本委員会に対する申請はすべて小川会員にやっていただき改めて感謝申し上げます。

地区、日本委員会とのやり取りが数回ありその後申請承認がありました時には、会員各位より大きな拍手をいただきました。

ロータリーの友情に感謝いたします。

そして今日、完成報告会が開かれ関係各位に感謝申し上げると同時に今後の奉仕活動を実践して参りたいと思います。